

研究短信

ひとの動き

〔現地滞在者〕

- ◇ マレーシア・ケダ州パダンラランの村落調査のため、**口羽益生助**教授（竜谷大学文学部）は本年9月まで滞在。
- ◇ インドネシアの熱帯降雨林の森林生態学的研究のため、**山田勇氏**（京大農学部大学院）はボゴール植物園に、また中部ジャワを中心とする独立前の民族運動の研究のため**土屋健治氏**（東大教養部大学院）はガジャマダ大学にそれぞれ留学中。
- ◇ タイ国のかんがい排水に関する研究調査と、センターバンコク連絡事務所長代理として**海田能宏**助手（東南ア研）は、明年1月までの予定で4月3日出発。

〔帰 国〕

- ◇ 2年間にわたりバンコク連絡事務所長代理を務めるとともに水稲の植物栄養学的調査を続けた**福井捷朗**助手（京大農学部）は、通算5年間の調査を終えて4月17日帰国。
- ◇ 6カ月にわたりタイ国 Central Plain およびその周辺の地質学的、古生物学的研究調査を行なった**高谷好一**助教授、**瀬戸口烈司**助手（いずれも東南ア研）は5月1日帰国。
- ◇ 開発途上国における人口問題の研究のため昨年9月よりプリンストン大学に留学していた**坪内良博**助手（東南ア研）は6月17日に帰国。

〔センター来訪者〕

- ◇ Ohio 大学の Willard H. Elsbree 教授は4月1日センターを訪れ、東南アジア諸国間の政治関係およびその研究に関する当センターの方針について討議。
- ◇ インドのデリーにある Enclave 大学「アジア社会・経済発展研究センター」の R. Pieris 博士（現在 UNESCO Regional Social Science

Research Adviser）は、4月4日当センターを訪れた。同博士より、7月17日および18日に UNESCO 後援の東京ミーティングにセンターから社会科学者を招待したいという申し込みを受ける。

- ◇ 5月8日、シンガポール国立東南アジア研究所の事務所長 Mr. Lim Phai Som が来訪。同研究所とセンターとの研究協力について協議した。
- ◇ West Virginia 大学で政治学を教えている Hang N. Kin 助教授は、日本でのアジア研究の状況を知るために6月23日センターを訪れ、資料を集めた。
- ◇ ミシガン大学の東南アジア研究センター所長 Gayl Ness 教授は、6月26、27日にセンターを訪れ、彼らのマレーシアおよびフィリピンにおける調査計画を披露し、関係者と討議した。
- ◇ そのほか、フィリピンの Christian Social Movement の Mr. Raul S. Manglapus, 世界銀行の Mr. William Clark, インドの Inter-University Board of India & Ceylon の Mr. Amrik Singh の訪問を受けた。

バンコク連絡事務所移転

センターバンコク連絡事務所は4月1日より下記の住所に移転。

Bangkok Liaison Office, Kyoto University
258 Soi Akansongkro, Phichai Road
Bangkok, Thailand

センター定例研究会

従来センターでは研究例会、タイ・プロジェクト研究会ほか各種の研究集会を持ってきたが、このたびそれらを統合、発展させて下記のように定例研究会を組織した。場所はセンター会議室。東南アジア研究に興味のある研究者の参加をお待ちしています。

I 地域研究の部

1. 東南アジア大陸部 隔週木曜日10時～12時
2. 東南アジア島嶼部 隔週木曜日10時～12時

II 分野別研究の部

1. 文化・社会セミナー 毎週火曜日1時30分～3時30分
2. 経済セミナー 毎週木曜日1時～3時
3. 歴史セミナー 毎週木曜日3時30分～5時30分

III 総合研究の部

1. センター研究例会 木曜日(不定期)6時～8時
2. 東南アジア・セミナー(助手会主催) 毎週火曜日10時～12時

使用テキスト(6月30日現在)

1. 文化・社会セミナー: K. A. Wittfogel. *Oriental Despotism*, 1957.
(リポーター: 飯島茂助教授)
2. 経済セミナー: G. Myrdal. *Asian Drama*, 1968.
3. 歴史セミナー: G. Coèdes. *Les états hindouisés d'Indochine et d'Indonésie*, 1964.
英訳 *The Indianized States of Southeast Asia*, 1968.
(リポーター: 石井米雄教授)

地域研究セミナー記事および予定

- 6月12日 高谷好一「タイ国中央平原の地形」
6月17日 渡部忠世「レンガ学の構想」
6月19日 坪内良博「最近の人口論モデル」
6月26日 Dr. Gayl Ness “Michigan research project on bureaucracy in Malaysia & the Philippines”

7月からの発表担当予定順:

1. Dr. R. Soekmono 2. 瀬戸口 3. 前田
4. 服部 5. 法貴 6. 福井 7. 小林 8. 野口 9. 石井 10. 久馬 11. 水野

研究例会記事

- 4月23日 久馬一剛「フィリピン水田土壌調査から帰って」
川口桂三郎「オーストラリアの稲作環境と土壌——特に日本および東南アジアと対比して」
5月8日 法貴誠「フィリピン留学から帰って——国際稲作研究所(IRRI)の近況」
5月13日 John E. Bardach 教授を囲む第3回研究会 “Mekong Revisited”
5月22日 前田成文「マラヤ稲作農民への社会人類学的調査票について」
5月29日 福井捷朗「タイ国中央平原における水稻栽培について」
1. 1967年度生育実態調査の報告
2. 圃場試験結果の予備的な報告
6月5日 桂満希郎「タイ語の北部方言について」
6月19日 高谷好一「タイ国中央平原の地形について」

東南アジア・セミナー(助手会主催)記事

- 5月20日 江崎光男「東南アジアにおけるエコノメトリック・モデルの応用例」
5月27日 瀬戸口烈司「東南アジアの人種」
6月3日 前田成文「経済の人類学——経済現象への人類学的方法の適用」
6月17日 市村真一「経済学とは何か」
6月24日 江崎光男「安定人口理論の紹介」